

第37回ドライプロセス国際シンポジウム

DPS2015

37th International Symposium on Dry Process Exhibit Opportunities

高度情報化社会を担うマイクロエレクトロニクス技術の高度化が進むなかで、ドライプロセスの役割はますます大きくなってきています。ドライプロセスにおける様々な物理的・化学的現象の解明は、今後のマイクロエレクトロニクス、マイクロマシンやナノテクノロジー分野を中心とした電気・電子、半導体工学および先端技術産業の発展と新たな応用の開拓に大きく寄与すると期待されます。

特に、半導体技術を中心とするドライプロセスの基礎および応用に関して、日本は世界のトップレベルにあり、研究者・技術者も多数います。このような背景のもと、ドライプロセスの基礎から応用に携わる世界の研究者が一堂に会して、先端的成果を発表・討論し、相互の理解を深める本国際会議を開催することは、電気分野の基礎・材料の発展のみならず情報システム、マイクロエレクトロニクス、ディスプレイ、半導体デバイス、バイオテクノロジー、マイクロマシン、機能性材料を基盤とする電気・電子・情報・バイオ分野およびナノテクノロジー分野における次世代のブレークスルー的技術の創製につながるものと期待されます。

会場

淡路夢舞台国際会議場

URL: <http://www.yumebutai.org/>

〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台 1 番地

展示日時

2015年11月5日(木) 午前10時～午後5時

2015年11月6日(金) 午前9時～午後3時

主催 公益社団法人 応用物理学会(The Japan Society of Applied Physics)

協賛

電子情報通信学会(The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers)

電気化学会(The Electrochemical Society of Japan)

日本表面科学会(The Surface Science Society of Japan)

化学工学会(Society for Chemical Engineers, Japan)

日本真空学会The Vacuum Society of Japan

電気学会(The Institute of Electrical Engineers of Japan)

日本化学会(The Chemical Society of Japan)

表面技術協会(The Surface Finishing Society of Japan)

放電学会(The Institute of Engineers on Electrical Discharges in Japan)

プラズマ・核融合学会(The Japan Society of Plasma Science and Nuclear Fusion Research)

名古屋大学プラズマナノ工学研究センター(PLASMA NANOTECHNOLOGY RESERCH CENTER)

Operational Management by Nikkan Kogyo Communications, Inc.

第37回ドライプロセス国際シンポジウム(DPS2015)

謹啓 時下益々ご盛栄のこととお喜び申し上げます。

ドライプロセス国際シンポジウムの活動では、平素より格別の御高誼を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、掲題の『第37回ドライプロセス国際シンポジウム』を、本年11月5日～6日の2日間にわたり兵庫県淡路島の淡路夢舞台国際会議場で開催する運びとなりました。今回のシンポジウムは、応用物理学会が主催し、第1回（1979年、於 東京、電気学会電子装置研究専門委員会、半導体デバイス常置専門委員会主催）から数えて37回目の開催となります。

ドライプロセスはマイクロエレクトロニクス、マイクロマシンやナノテクノロジー分野を中心とする電気・電子、半導体工学や先端技術産業の発展および新たな応用の開拓に大きく寄与するものと期待されています。本シンポジウムはドライプロセスの基礎から応用に携わる世界の研究者が一堂に会するユニークな会議として30年に亘りこれらの分野の技術発展に対して有益な議論の場となっており、200名程の研究者・専門家が集います。

本シンポジウムでは、企業様からの展示出展を募集しております。つきましては、貴社におかれましても出展のご検討を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

謹白

組織委員会 委員長 辰巳 哲也

実行委員会 委員長 浜口 智志

■ 発表論文予定数 100件

■ セッションテーマ

- ドライエッチング技術
- プラズマプロセスを用いた製造サイエンス
- 表面反応およびプラズマ誘起ダメージ
- プラズマおよび表面のモニタリングと診断技術
- モデリングとシミュレーション
- プラズマ生成技術
- 製膜（PVD/CVD/ALD）技術
- 3次元デバイス、フラットパネルディスプレイ、太陽電池へのプラズマ応用
- 新デバイス材料（メモリ、パワー、ロジックデバイス）へのプラズマ応用
- 医療、薬理作用、マイクロメカニカルエレクトロシステム（MEMS）、ナノ科学
- 大気圧、液体プラズマプロセス
- 新規のプラズマ応用技術

■ 参加予定人数： 200名（国内 140名、海外 60名）

【参加予定国】

アメリカ合衆国、アイルランド、イギリス、イタリア、インド、オーストリア、オーストラリア、オランダ、カナダ、韓国、シンガポール、スイス、スペイン、台湾、中国、チェコ、ドイツ、日本、フランス、ハンガリー、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、マレーシア、メキシコ、ロシア連邦

Exhibition GUIDE

1. 展示会スケジュール

展示会 11月5日(木) 10:00am - 5:00pm

11月6日(金) 9:00am - 3:00pm

▶ 搬入・設営 11月4日(水) 3:00pm - 5:00pm

※ 予備日 11月5日(木) 9:00am - 10:00pm

▶ 撤去・搬出 11月6日(金) 3:00pm - 5:00pm

2. 会場

淡路夢舞台国際会議場 B1Fロビー



ポスター・展示会場



受付



3. 出展料金、小間仕様

1小間: 150,000円(税抜)

※ 出展料金に2名分の会議参加登録料を含みます。

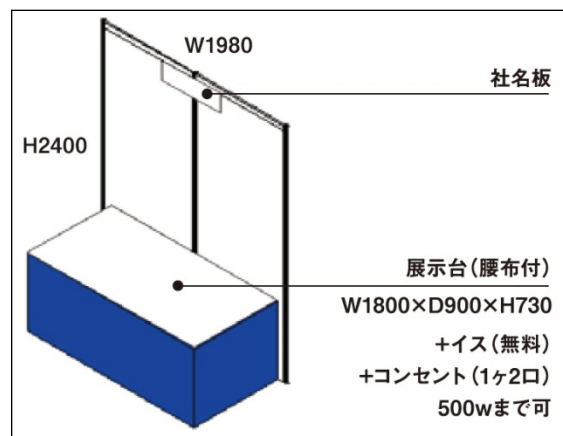
【オプション】 スポットライト 4,500円

カタログスタンド 7,500円 など

出展申込締切

2015年10月9日(金)

WEBからのお申込 .. <http://www.nikkanad.co.jp>



カタログ展示・デジタルサイネージ

右図仕様の小間に1枠50部を上限にカタログを平積み。
(会期終了後残部は弊社で破棄。返送をご希望の場合は送料は貴社負担。)

デジタルサイネージ：PowerPointファイル形式(PPTX形式)の上限3スライド+企業名スライド1枚を他カタログ展示企業分と併せ、ループ表示(1スライド/約3秒予定、スライドサイズは4:3。Windows環境下PowerPoint2010にて、55インチFPD相当で放映。要フォント埋め込み。)
※アニメーション効果、動画・音声の埋め込みは不可。)



カタログ展示 1枠 40,000円(税抜)

+デジタルサイネージ 10,000円(税抜)

申込み締切：2015年10月9日(金)

プログラム 広告

会議参加者全員へ配布いたしますプログラム集へ広告を掲載することができます。ご出展の企業様は割引価格にてご提供させていただきます。

掲載場所	色 / スペース	掲載料金 (出展者)	掲載料金 (一般)
表4	4色 / 1ページ	¥60,000-	¥120,000-
表2	4色 / 1ページ	¥50,000-	¥100,000-
表3	4色 / 1ページ	¥40,000-	¥80,000-
前付	1色 / 1ページ	¥40,000-	¥70,000-
後付	1色 / 1ページ	¥30,000-	¥60,000-

収録内容

表示価格は全て税抜です。

講演会プログラム索引 など

発行概要

- 発行部数 200部 (参加者全員に配布)
- 発行日 2015年11月5日(木)
- 配布場所 総合受付
- 広告申込締切日 2015年10月2日(金)
- 広告原稿締切日 2015年10月9日(金)
- 広告原稿サイズ A4サイズ(天地260mm x 左右180mm)

仕様

広告原稿はアウトライン化済みのデータでご提供ください。入稿仕様書および、

4色原稿については簡易校正、1色原稿は出力紙を必ず添付してください。

推奨アプリケーション / Macintosh : Illustrator、Photoshop (PDF, Word, Excel, PowerPointは不可)

推奨貼込画像形式 / EPS, TIFF (RGB不可)

展示会・広告のお問い合わせは

株式会社 日刊工業コミュニケーションズ DPS2015 担当まで

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-7-10 茅場町第3長岡ビル

TEL. 03-5614-3080 FAX. 03-5614-3011 E-mail. info@nikkanad.co.jp